

演習グループ名 E班			モデル自治体 岩手県矢巾町		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
009	岩手県	浅沼 幸直	011	岩手県	越田 正信
015	岩手県	菅野 大輝	016	岩手県	工藤 祐奈

# 自治体の概要

## 【モデル自治体】岩手県矢巾町 テーマ「青少年教育」

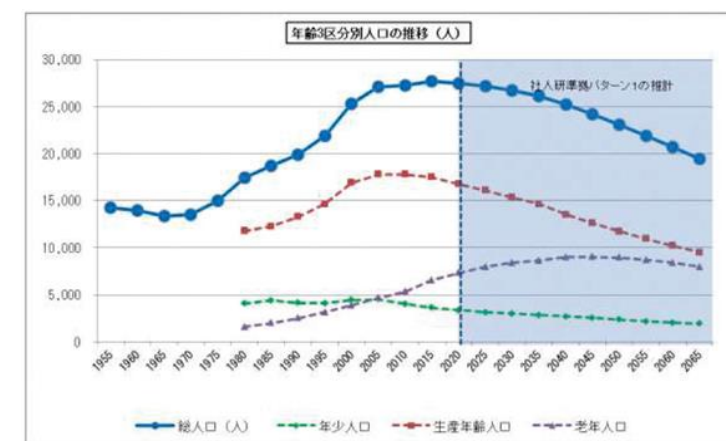
### (1) 地勢・地域条件等

- ・岩手県のほぼ中央に位置し盛岡市の南に隣接、面積は67.32 km<sup>2</sup>、人口約27,000人、東北本線や東北新幹線・東北縦貫自動車や国道4号線など交通の便が良い。
- ・本町の中央部は平坦地であり、稲作に適した田園地帯。西部には標高848mの南昌山がそびえ、東は北上川が流れる。



### (2) 住民の生活状況の特徴

- ・盛岡市のベッドタウン
- ・年齢三区分別人口では、年少人口と生産年齢人口は平成17年(2005年)まで増加していたものの、平成22年(2010年)には減少に転じている。また、老年人口は平成7年(1995年)から平成22年(2010年)にかけて増加傾向にある。



出典：国勢調査(2015年まで)、社人研推計値(2020年以降)

### (3) 教育・文化的環境の特徴

- ・小学校4校、中学校2校 県立不来方高等学校/県立盛岡となん支援学校/県立産業技術短期大学校/岩手医科大学
- 社会教育施設等
  - ・矢巾町公民館・矢巾町文化会館(田園ホール)・矢巾町民総合体育館・矢巾町活動交流センター・矢巾町図書センター

### (4) テーマに関する環境の特徴や課題等

若者が多数いるが、地域活動に参加する子ども、若者が少なく、地域の繋がりが希薄になってきているように見受けられる。地域住民の地元に対する興味関心、地域への参画を増やし、地域住民同士の繋がりをつくることが課題である。



演習グループ名 E班			モデル自治体 岩手県矢巾町		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
009	岩手県	浅沼幸直	011	岩手県	越田正信
015	岩手県	菅野大輝	016	岩手県	工藤祐奈

## 2 現行施策の状況 (テーマ：青少年教育)

**【施策】**  
時代を拓き次代につながるひとづくり

**【戦略的な目標】**

- ・個性を伸ばし、生涯にわたる学びを支え、持続可能な社会を担うひとづくりに努める。
- ・学校・家庭・地域の連携を深め、心豊かにたくましく生きるひとづくりに努める。
- ・生涯を通して学び、郷土の歴史と文化を誇りにし、未来を創造するひとづくりに努める。

現行の施策の柱 (区分)	現 行 の 事 業	
	生涯学習・社会教育主管課	他部局等の関連事業
<b>【柱1】</b> 学校・家庭・地域の連携・協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育</li> <li>・星空観察会</li> <li>・論文・作文コンクール</li> <li>・寺子やはば</li> <li>・教育振興運動の推進</li> <li>・夏休み子供工作教室</li> </ul>	
<b>【柱2】</b> 家庭の教育力の向上及び青少年の学習活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子創作活動</li> <li>・親子劇場</li> <li>・普代村交流事業</li> <li>・昭和の体験学校</li> </ul>	
<b>【柱3】</b> 様々な学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八幡平トレッキング</li> <li>・平和啓発事業</li> <li>・ジュニアリーダーの育成</li> <li>・リーダー研修会</li> <li>・俳句大会</li> <li>・フォトコンテスト</li> <li>・夏休み・春休み子ども映画会</li> <li>・わたまるキッズ歴史探検隊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和教育事業への中学生派遣 (福祉課)</li> </ul>

演習グループ名 E班			モデル自治体 岩手県矢巾町		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
009	岩手県	浅沼幸直	011	岩手県	越田正信
015	岩手県	菅野大輝	016	岩手県	工藤祐奈

### 3 課題の分析から新たな計画体系へ

#### 整理した課題

- ①地域のつながりの希薄化
- ②青少年の地域づくりへの参画意識と参加率の低さ
- ③高齢化率の上昇

#### 根拠となる調査・答申等

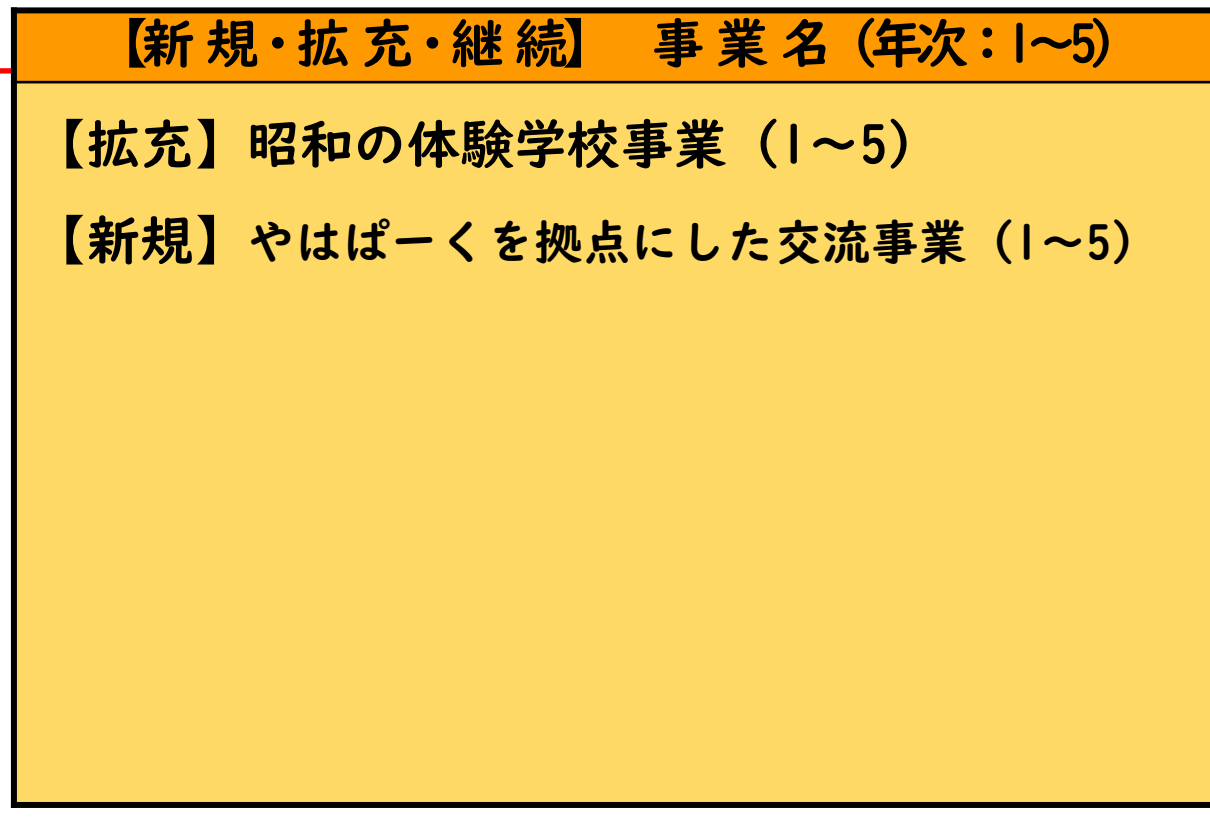
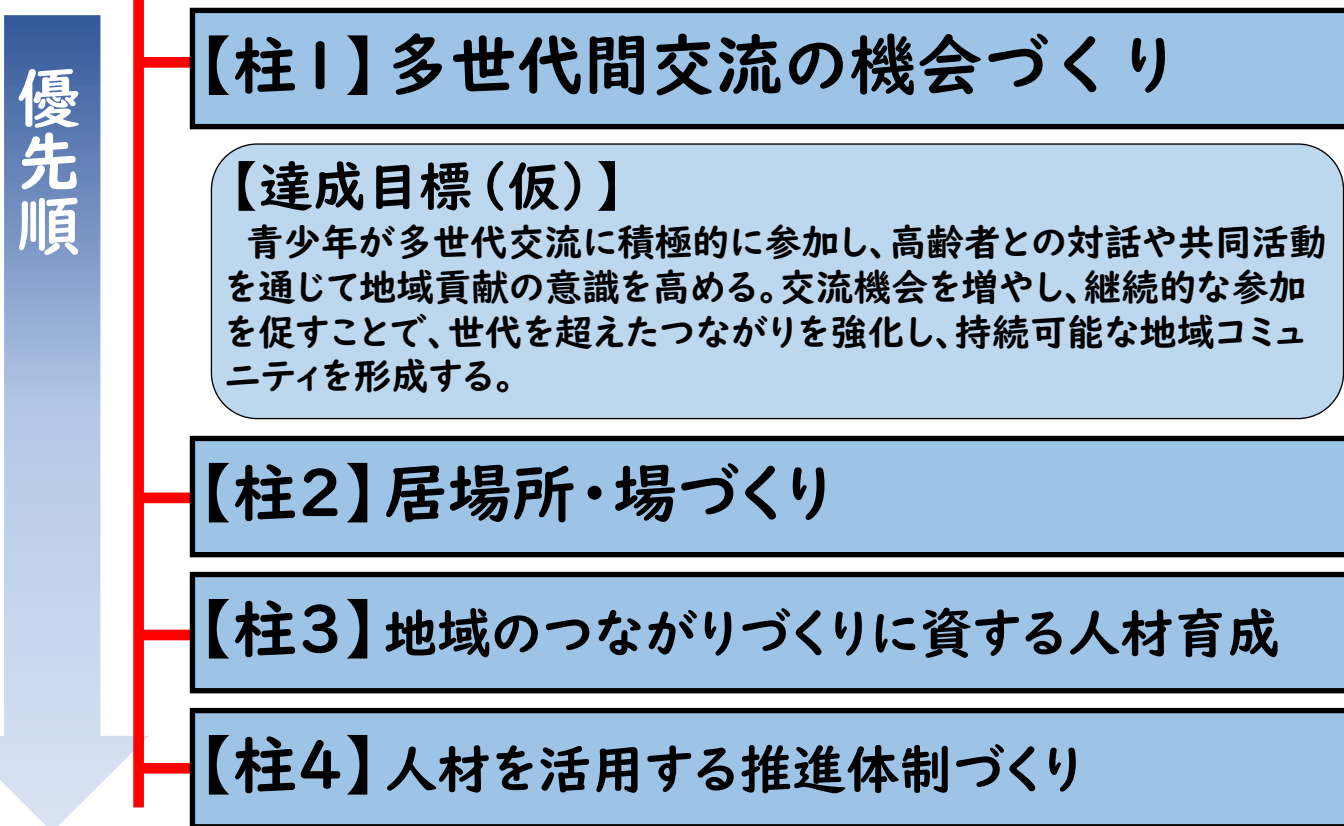
- ①第3期矢巾町教育振興基本計画
- ②第8次矢巾町総合計画（前期基本計画）
- ③R6 矢巾町町勢要覧
- ④矢巾町ホームページ

#### 施策の方向性

- ・多世代間交流機会の充実
- ・青少年に対する多世代交流・地域参加の普及啓発

### 新たな計画体系

【施策】 時代を拓き次代につながるひとづくり





# 4 事業の年次計画と評価フロー図

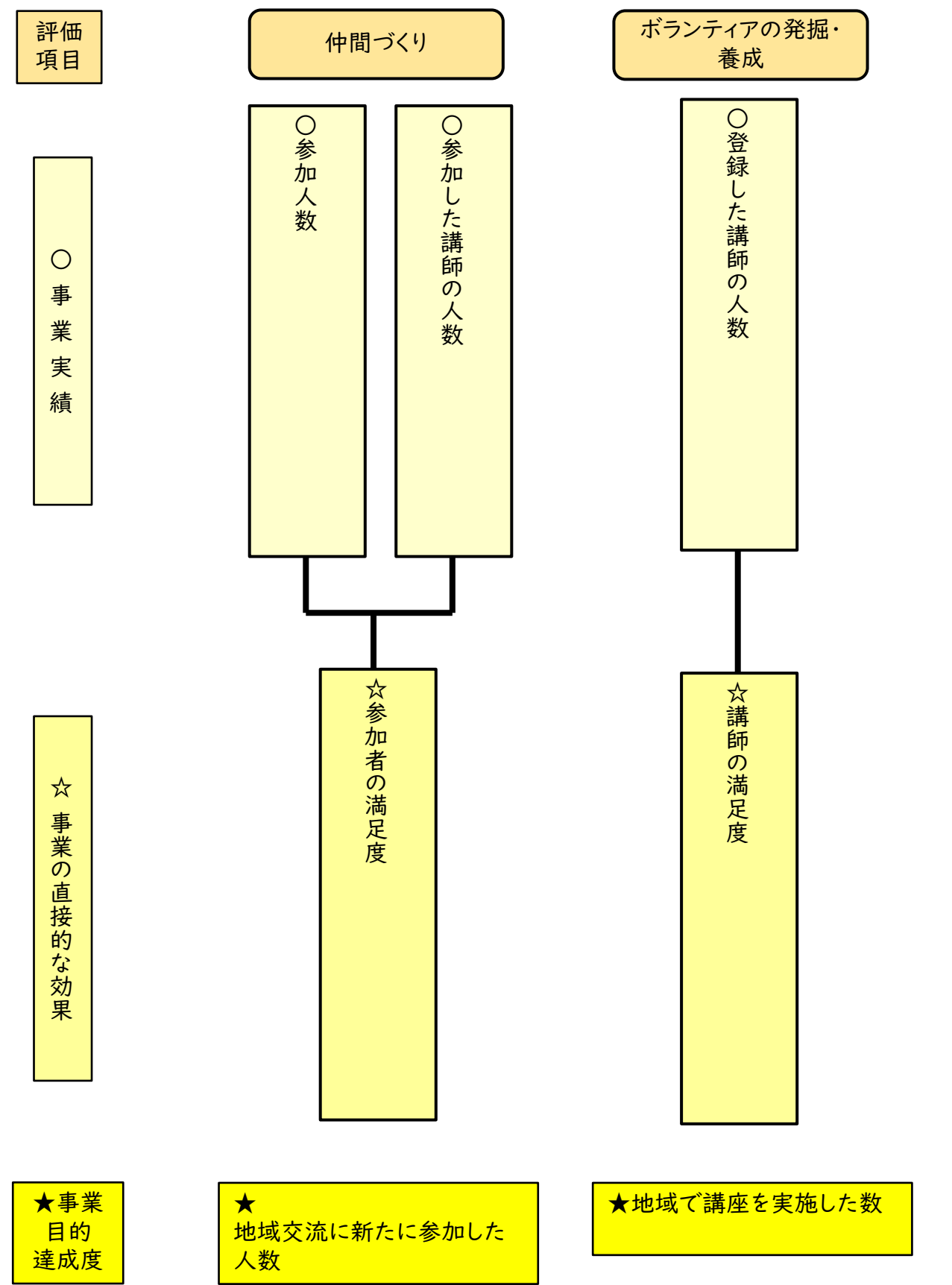
施 策	時代を拓き次代につながるひとづくり
-----	-------------------

施 策 の 柱	多世代間交流の機会づくり
---------	--------------

事 業 名	【拡充】昭和の体験学校事業				
事 業 目 標	青少年が、地域住民と関わりながら郷土の伝統や文化について体験的に学ぶ機会を通じ、持続的に地域と関わっていくことのできる環境を作る。				
年 次 計 画	●	●	●	●	●

年次	取組の概要 (内容, 方法, 実施期間, 対象, 連携先等)	達成状況 (目標値)	予算 (千円)
1	○昭和の体験学校事業 1年目 対象：小学生までの子どもと保護者 実施回数：2回 ・事業内容の検討（担当者） ・講師の依頼、事業の告知、参加者の募集（担当者）	活動に対する満足度 80%	報償費：10 需用費：40
2	○昭和の体験学校事業 2年目 対象：小学生までの子どもと保護者 実施回数：2回 ・事業内容の検討（担当者） ・講師の依頼、事業の告知、参加者の募集（担当者）	活動に対する満足度 80%	報償費：10 需用費：40
3	○昭和の体験学校事業 3年目 対象：小学生までの子どもと保護者 実施回数：2回 ・事業内容の検討（担当者） ・講師の依頼、事業の告知、参加者の募集（担当者） ・事業内容の振り返り・地域実践のための打合せ	活動に対する満足度 80%	報償費：10 需用費：40
4	○昭和の体験学校事業（地域版） 1年目 テーマ：開催地ごとに設定 対象：小学生までの子どもと保護者 実施回数：開催地ごとに決定 ・事業準備（内容の企画は講師、告知や募集、調達は行政） ・当日の運営は地域ごと	活動に対する満足度 80% 地域開催3回	報償費：15 需用費：60
5	○昭和の体験学校事業 2年目 テーマ：開催地ごとに設定 対象：小学生までの子どもと保護者 実施回数：開催地ごとに決定 ・事業準備（内容の企画は講師、告知や募集、調達は行政） ・当日の運営は地域ごと ・実践の交流・振り返り	活動に対する満足度 80% 地域開催3回	報償費：15 需用費：60

演習グループ名 E班			モデル自治体 岩手県矢巾町		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
009	岩手県	浅沼幸直	011	岩手県	越田正信
015	岩手県	菅野大輝	016	岩手県	工藤祐奈



演習グループ名 E班			モデル自治体 岩手県矢巾町		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
009	岩手県	浅沼幸直	011	岩手県	越田正信
015	岩手県	菅野大輝	016	岩手県	工藤祐奈

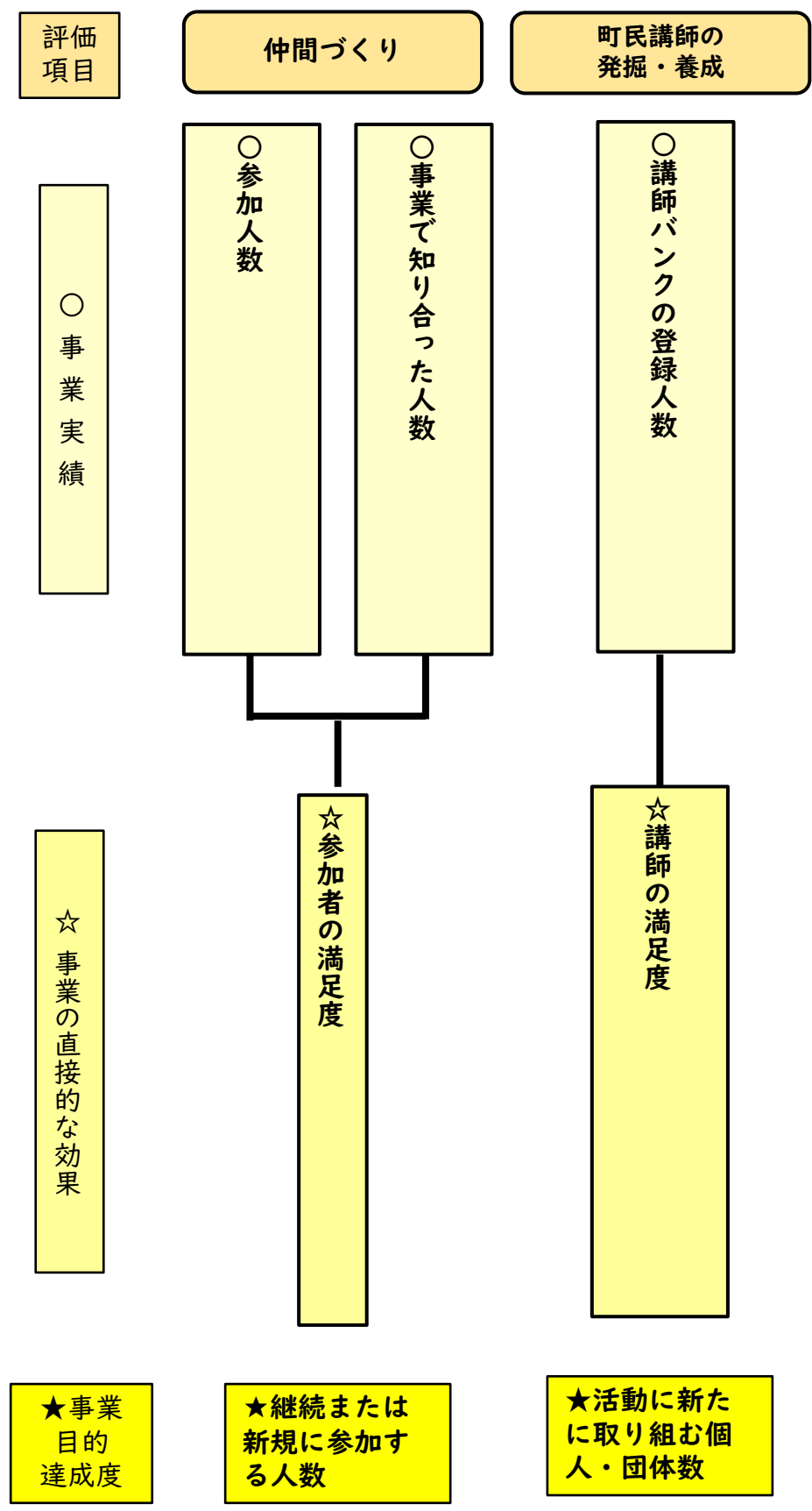
# 5 事業の年次計画と評価フロー図

**施策** 時代を拓き次代につながるひとづくり

**施策の柱** 多世代間交流の機会づくり

<b>事業名</b>	【新規】やはぱーくを拠点にした交流事業				
<b>事業目標</b>	地域住民が主催したイベントや活動を通じて、互いの理解を深め、地域コミュニティの絆を強化する。				
<b>年次計画</b>	●	●	●	●	●

年次	取組の概要 (内容, 方法, 実施期間, 対象, 連携先等)	達成状況 (目標値)	予算 (千円)
1	○「やはぱーくを拠点にした交流事業」準備 ・戦略会議1(教育委員会、町内会等) ・市民アンケート(交流したい内容について) ・講師募集、講師選出 ・町内の学校へのアプローチ ・戦略会議2(教育委員会、町内会等) ・予算申請	・町民アンケート実施(500人) ・町民アンケート結果に基づく講師選定 ・事業概要作成	広告宣伝費:10 消耗品費:50 賄い費:50
2	○「やはぱーくを拠点にした交流事業」1年目 ・内容:みんなで挑戦!世代をつなぐスポーツフェス ・未来を守る!世代で学ぶ防災スクール ・未来をつなぐ!若者先生プロジェクト、一緒に作ろう!伝統×最新スイーツ作り ・実施期間:通年で4回	・活動に対する満足度の割合を70%以上にする	広告宣伝費:10 消耗品費:50 賄い費:50
3	○「やはぱーくを拠点にした交流事業」2年目 ・内容:みんなで挑戦!世代をつなぐスポーツフェス ・未来を守る!世代で学ぶ防災スクール ・未来をつなぐ!若者先生プロジェクト、一緒に作ろう!伝統×最新スイーツ作り ・実施期間:通年で4回	・活動に対する満足度の割合を70%以上にする	広告宣伝費:10 消耗品費:50 賄い費:50
4	○「やはぱーくを拠点にした交流事業」3年目 ・内容:みんなで挑戦!世代をつなぐスポーツフェス ・未来を守る!世代で学ぶ防災スクール ・未来をつなぐ!若者先生プロジェクト、一緒に作ろう!伝統×最新スイーツ作り ・実施期間:通年で4回	・活動に対する満足度の割合を70%以上にする	広告宣伝費:10 消耗品費:50 賄い費:50
5	○「やはぱーくを拠点にした交流事業」振り返り ・各講師に、実施した結果を発表してもらい、今後の展望についてアドバイスをもらう。 ・戦略会議(教育委員会、町内会等)	・町民アンケート実施(500人) ・町民アンケート結果に基づく事業の検討	消耗品費:50 賄い費:50



演習グループ名 E班			モデル自治体 岩手県矢巾町		
番号	都道府県名	氏名	番号	都道府県名	氏名
009	岩手県	浅沼幸直	011	岩手県	越田正信
015	岩手県	菅野大輝	016	岩手県	工藤祐奈

# 6 社会教育計画 (計画体系・評価体系)

**【施策】**  
時代を拓き次代につながるひとづくり

**【施策】**  
時代を拓き次代につながるひとづくり



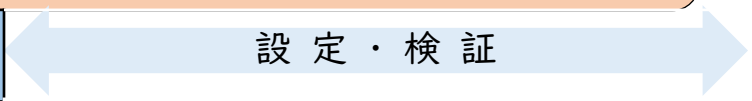
**【戦略的な目標】**  
 ・個性を伸ばし、生涯にわたる学びを支え、持続可能な社会を担うひとづくりに努める。  
 ・学校・家庭・地域の連携を深め、心豊かにたくましく生きるひとづくりに努める。  
 ・生涯を通して学び、郷土の歴史と文化を誇りにし、未来を創造するひとづくりに努める。

**【評価の視点】**  
 ①青少年が地域へ参画する学習機会を作れたか  
 ②青少年が地域づくりに参画することができたか  
 ③青少年が郷土の文化に興味を持ち、郷土への誇りを持つことができた  
 ④地域と連携して子どもの成長を支援できているか

**【評価指標】**  
 ①活動の参加者数  
 ②新たな講師の増加数  
 ③講座を実施した回数

**【柱1】多世代間交流の機会づくり**

**【柱1】多世代間交流の機会づくり**



**【達成目標】(仮)**  
 青少年が多世代交流に積極的に参加し、高齢者との対話や共同活動を通じて地域貢献の意識を高める。交流機会を増やし、継続的な参加を促すことで、世代を超えたつながりを強化し、持続可能な地域コミュニティを形成する。  
 ★…事業目的達成度

**【評価の視点】**  
 ①継続的な交流の機会が生まれているか  
 ②青少年が地域活動に積極的に関わるようになったか  
 ③定期的に活動が開催されているか  
**【評価指標】**  
 ①参加者の満足度  
 ②講師の満足度

**【事業】昭和の体験学校事業**

**【事業目標】**  
 青少年が、地域住民と関わりながら郷土の伝統や文化について体験的に学ぶ機会を通じ、持続的に地域と関わっていくことのできる環境を作る。

**<アウトプット>**  
 ○参加人数  
 ○参加した講師の人数  
 ○登録した講師の人数

**<アウトカム>**  
 ☆参加者の満足度  
 ☆講師の満足度  
 ★地域で講座を実施した回数  
 ★地域交流に新たにに参加した人数

**【事業】やはぱーくを拠点にした交流事業**

**【事業目標】**  
 地域住民が主催したイベントや活動を通じて、互いの理解を深め、地域コミュニティの絆を強化する。

**<アウトプット>**  
 ○参加人数  
 ○事業で知り合った人数  
 ○講師バンクの登録人数

**<アウトカム>**  
 ☆参加者の満足度  
 ☆講師の満足度  
 ★継続または新規に参加する人数  
 ★活動に新たにに取り組む個人・団体数

**【事業】ふれあいワークショップ事業**

**<アウトプット>**

**<アウトカム>**

**【事業】交流カフェ事業**

**<アウトプット>**

**<アウトカム>**

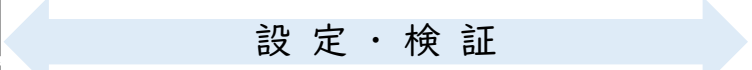
**【事業】地域の歴史トーク**

**<アウトプット>**

**<アウトカム>**

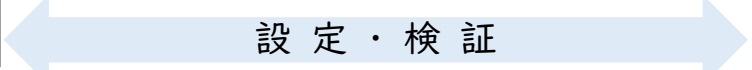
**【柱2】居場所・場づくり**

**【柱2】居場所・場づくり**



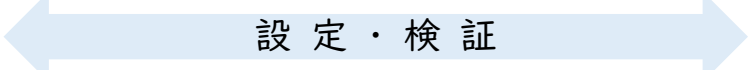
**【柱3】地域のつながりづくりに資する人材育成**

**【柱3】地域のつながりづくりに資する人材育成**



**【柱4】人材を活用する推進体制づくり**

**【柱4】人材を活用する推進体制づくり**



**【関連部局における取組】**  
 ・企画財政課  
 地域づくり、自治公民館の管理、コミュニティの窓口  
 ・未来戦略課  
 フューチャーデザインを取り入れた政策立案  
 ・こども家庭課  
 子育て支援





# 時代を拓き次代につながるひとづくり

矢巾町の課題  
地域のつながりの希薄化  
青少年の地域づくりへの参加意識の低さ  
高齢化率の上昇

## 多世代間交流の充実が必要！

### 事業1

## 【拡充】昭和の体験学校

地元住民（高齢世代）が親子に昔ながらの文化を教える

郷土料理作り・昔あそび・  
地域の行事・創作 など



4～5年目  
地域住民主体で企画運営  
(行政はサポート)

### 事業2

## 【新規】やはぱーくを 拠点にした交流事業

- ・みんなで挑戦！世代をつなぐスポーツフェス
- ・未来を守る！世代で学ぶ防災スクール
- ・未来をつなぐ！若者先生プロジェクト
- ・一緒に作ろう伝統×最新スイーツ作り



地域主導の講座開催への波及  
地域交流に新たにに参加した人の増加  
継続して地域交流に参加する人の増加  
活動に新たに取組む個人・団体数の増加



子ども、親、高齢者  
みんながつながる  
元気な矢巾に！